

夏期はダイヤモンド式動力脱穀機・人力脱穀機、冬期はマサル式製縄機の製造販売を続けた。

昭和22年ごろから政府も日本の戦後復興のため、品質向上農業の近代化を目的に、農機具の共進会・博覧会を開催した。

共栄社もこれに出品し、各博覧会で金牌を受賞した。

### 輸出展風景

売上高	昭和21年	300万
	22年	800万
	23年	2,200万
	24年	6,300万
	25年	6,800万

